

生活クラブ生活協同組合・茨城 歩み

2020年3月31日更新

年	月	出来事
1965年	6月	生活クラブ結成（東京の前進）牛乳の共同購入開始
1983年	6月	生活クラブ茨城 発起人会発足、配達は旧柏センター（北柏）から
	7月	生活クラブ茨城 設立総会（7/22）（7番目の生活クラブ）土浦市民会館小ホール
1984年	12月	牛久配送センター（旧牛久センター・牛久市柏田）完成・開所式
1985年	10月	生き活きまつり開催（桜村・竹園公園）
1988年	5月	中期計画策定（5カ年）1988-1992/第5回通常総代会
	11月	パスタライズド牛乳取組み開始（早朝配達から日中配達へ）
1989年	11月	もう一つのノーベル賞「ライトライブリッド・アワード」名誉賞受賞
1990年	3月	茨城でのワークス第1号「とびら」発足
	11月	生活クラブ事業連合生活協同組合連合会発足
1991年	5月	水戸センター開設（旧水戸センター／水戸市河和田町）
1992年	11月	県内産農産物の取組を茨城有機農法研究会（丸エビ倶楽部の前身）と提携開始
1993年	10月	個人集金化・冷蔵・冷凍品の個人取組化開始
1994年	5月	中期計画策定（3カ年）1994-1996 生活クラブ組織改編（支部廃止移行期間）
1995年	9月	グリーンシステム開始
	9月	丸エビ倶楽部と茨城町の米の取組開始
1996年	5月	第13回通常総代会、組織活動再開へ、組合員主権の運営への転換
	7月	機関紙編集委員会設置、機関紙名「わたげ」公募により決定、7月より定期発行
	11月	支部づくりに向け、選挙区別総代会集會開催
1997年	12月	臨時総代会開催・牛久センター建設決定
1999年	6月	共同購入システム改革・申込み月2回化・個人化
	9月	牛久新センター開設（牛久市猪子町）／開設祭を11月に開催
2000年	5月	中期計画策定（3カ年）2000-2002
2001年	5月	ビン牛乳取組開始
	6月	単協独自・豆腐取組み開始（牛久エリア）
2002年	4月	個人ピッキング開始（ピッキング袋導入）
	7月	エコロ制度スタート
2003年	5月	第3次中期計画（3カ年）2003-2005・たすけあい基金創設
	10月	インターネットによる申込み（補完システム）eクラブ開始
	12月	たすけあい基金第1回助成（3団体）
	12月	COOP共済申込み開始
2004年	4月	GMナタネ自生調査活動開始
	11月	つくば市で代理人2名誕生
2005年	10月	20周年記念事業、牛乳の地域事業化「ミルク宅配便」事業開始
2007年	5月	第4次中期計画（5カ年） 2007-2011
	12月	取手倉庫稼働（個配の開始に向け）
2008年	3月	個配事業開始・企業組合W.Coはあもにい事業開始

年	月	出来事
	4月	ブロック運営スタート
2010年	4月	水戸新センター稼働（水戸市元石川町）
	10月	牛久センター開設10周年「生き活きまつり」大試食会開催
2011年	3月	東日本大震災・福島第一原発事故（共同購入システム改革・事業構造再設計休止へ）
	5月	災害経営安定基金創設
2012年	1月	取手市で代理人誕生
	2月	ファイバーリサイクル活動開始・リサイクル市開催
	4月	市民ファンド茨城設立、茨城ワーカーズ・コレクティブ協議会設置
	5月	第5次中期計画（5カ年）2012～2016 まち運営移行決定
2013年	4月	第30回通常総代会・支部運営からまち運営へ
	7月	生活クラブ共済「ハグくみ」スタート
	7月	市民ファンド茨城、まちづくり基金助成開始（7つの団体へ）
	12月	30周年記念講演 竹下和男氏 講演会
2014年	2月	30周年記念式典開催
2015年	3月	共同購入システム改革・週次システム開始
	9月	茨城県豪雨災害緊急カンパ活動実施（常総市水害9/10）
	10月	取手センター開設
2016年	4月	法人会員3事業所でスタート
	10月	電気の共同購入開始
	10月	たすけあいホットライン電話窓口開始
2017年	7月	地域くらぶづくり推進 110の地域くらぶの創出
2018年	3月	カンブリア宮殿で生活クラブが紹介され問合せ倍増
	4月	基金委員会・組合員活動費検討プロジェクト設置
	10月	テーマカフェ 組合員討議開催（10月～11月）
2019年	4月	カタログ回収事業開始
	6月	こだわりのごまづくり（2年目）
	6月	つくば市と見守り協定締結
	9月	阿見町と見守り協定締結
	10月	種子法の条例化に向けた協同組合連携での協議会
	10月	ケアステーション牛久開所、訪問介護事業開始
	11月	那珂市と見守り協定締結
3月	新型コロナウイルスの世界的な感染拡大	